

デーリー東北

2021年(令和3年)8月26日(木曜日) (2)

土木工学の基礎習得へ

八工大 社会人向け、十和田で開講

八戸工業大などは本年度、十和田市で社会人向けの「土木工学基礎プログラム」を開講する。土木工学6分野の基礎的事項について、3年間で計60時間の講義を実施。学校教育法に基づき履修証明プログラムで、修了者には履修証明書が交付される。地域を担う技術者の育成や転職希望者、高卒者にとって専門知識を習得できるキャリアアップの場となりそうだ。

履修証明プログラムは、大学などの教育機関が学生以外を対象とした特別な学習課程を開講する制度。同大では今回が初めて。

受講料は年額4万円で、講義は年間20時間。1年ごとに2分野ずつを学び、いづつから受講を始めても3年間で全分野が履修できる。本年度の募集は既に終了しており、上北地域を中心に社会人21人が受講する。25日に市建設会館で会見

した金子賢治学長補佐は「近年、大学は地域社会の持続的発展に寄与することが期待されている」と説明。人材育成や担い手不足に悩む、上北地域の土木業界からの要望もあり、同市での開講を決めたという。

プログラムは青森県建設業協会、県土木施工管理技士の両上北支部が共催する。同技士の柏崎尚久支部長は「社会人になれば必要な知識を経験の中で取得する。体系的な学びの場は貴重であり、業界のレベルアップや魅力づくりにつながる」と期待を寄せた。

(出川しのぶ)